２東村西高第１３９３号
令和３年３月３０日

令和２年度　東京都立東村山西高等学校　学校経営報告

校長　請地　政元

教育目標
〇正しい判断力と行動力を身に付け、たくましく自分の将来を切り拓く能力を培う。
〇高校生としての自覚を強く持ち、自分に厳しく責任感をもって行動できる能力を培う。
〇常にお互いを敬い、感謝し、思いやり、穏やかに他者と和する心と、奉仕のできる豊かな感性を創造する力を培う。
〇自然を愛し大切にし、常に心を豊かにする努力を惜しまない人間を育てる。
《校訓》
〇開拓　〇自律　〇協和　〇情操

項　　目	令和２年度数値目標	令和２年度	令和元年度	３０年度	２９年度	２８年度
生徒の学校満足度	７８％以上	７８．３％	８０％	７４．３％	７１．５％	７８．３％
現役進路決定率	９５％以上	９３％	９２％	８７％	９３．０％	９０．５％
遅刻者数（クラス１日）	１．２人以下	１．８３人	１．５人	１．７１人	１．６５人	１．３人
部活動加入率	８０％以上	６５％	７１．０％	７４．５％	７４．８％	７８．９％
入学者選抜１次応募倍率	１．３０倍以上	１．３７	１．２８倍	１．２２倍	１．２２倍	１．３３倍 (学級増)
学校説明会参加者	１３００人以上	１５２９人*	１３００人	１１２４人	１３４７人	１０１２人

＊…オンラインでの視聴人数を含む。

１　教育活動の取組目標と方策

①学習活動

・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休業期間中、オンラインによる動画配信を行った。
・朝学習を全学年で実施した。独自の学習テキストを作成した。
・週末課題を１・２学年で実施した。独自の学習テキストをスタディアプリとクラッシーで実施した。
・数学科で習熟度別授業を１学年数学Ⅰ、２学年数学Ⅱで実施した。生徒の基礎学力向上に繋がった。
・英語科で、少人数授業を１学年の英語表現Ⅰ、２学年のコミュニケーションⅡで実施し、生徒の興味・関心が向上した。
・国語科で、少人数授業を１学年国語総合、３学年国語表現で実施し、生徒個々に丁寧に指導し、知識の向上に繋がった。
・理科で、少人数授業を１学年３学年物理基礎と化学基礎、生物基礎で実施し、生徒が真剣に授業に取組んだ。
・家庭科で、少人数授業を２学年家庭総合で実施した。生徒個々に丁寧に指導し、技術の向上に繋がった。
・保健体育科で、多展開授業を３学年の実技で実施した。生徒の興味・関心が向上し、生涯体育の意識向上に繋がった。
・アクティブラーニング型授業及びＩＣＴ機器を活用した授業について研究を教科会や研修会で実施した。
・学校設定科目で、中国語講座を開講した。受講生は１９名であった。
・ＪＥＴ（４月～８月）及びＡＬＴを活用した授業を１学年コミュニケーションⅠ、２学年コミュニケーションⅡ、３学年コミュニケーションⅢで実施した。英語に興味を示し、英語力の向上に繋がった。
・英語検定２級に１名、準２級５名、３級１２名が合格した。
・漢字検定２級が４名、準２級６名、３級５名が合格者した。
・実用数学検定２級に１名、実用数学検定準２級に１名が受検した。
・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため時差登校を実施するとともに、授業はノーチャイムで実施した。生徒の授業前着席がおおむね実施できた。授業規律を通しての規範意識の醸成はおおむね指導できた。
・夏季講習は、新型コロナウイルス感染症対策により夏季休業期間が２週間に短縮されたため、１年生向けが１講座、２年生及び３年生向け各２講座の、合計５講座を実施した。
・図書委員会を４回実施し生徒の読書活動を支援する活動を行った。生徒の貸出冊数は１４９０冊で、昨年度より１４０冊減となった。
・人間と社会での都立中央公園の清掃、老人福祉施設での活動を実施し、ボランティアマインドの醸成に繋がった。

②進路指導

・今年度の進路決定率は、９３％であった。
４年制大学への進学は、６９名であった。主な４年制大学は次の通りである。
杏林大学、東京経済大学、亜細亜大学、日本大学他
短期大学への進学は、９名であった。主な短期大学名は次の通りである。
秋草学園短期大学、川口短期大学、淑徳短期大学他

専門学校への進学は、１３０名であった。主な専門学校名は次の通りである。
都立北多摩看護専門学校、早稲田速記医療福祉専門学校（看護科）、国際文化理容美容専門学校 他
就職者は、２６名であった。主な就職先名は次の通りである。
㈱プリンスホテル、㈱ブールミッシュ、ニプロ㈱、東京水道㈱、日野自動車㈱ 他

・今年度実施した進路行事は次の通りである。
１年生は、進路ガイダンス（６月）、キャリア講演会（２月）、職業体験実習（３月）、進路講演会（３月）
２年生は、職業理解ガイダンス（８月）、職業探求（１０月）、キャリア講演会（２月）、卒業生講話（３月）
３年生は、学校別ガイダンス（６月）
生徒の進路に対する意欲の向上が見られた。

③生活指導

・校門では、毎朝生活指導部を中心に教員全員で遅刻防止、自転車の乗り方、生徒の安全確保、挨拶、身だしなみ等の指導を行った。組織的に教員全体で確実な生徒指導を実践した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保健総務部を中心に全教職員によって、検温及び消毒、マスク着用等の指導を毎日行った。
・いじめに係るアンケート調査を３回実施したがいじめ案件はなかった。今後も常に生徒を観察するとともに、学校及び家庭、スクールカウンセラー、学校いじめ対策委員会と連携し、いじめは絶対にさせない、許さない。
・８月にＳＮＳに関する指導及び交通安全教室を実施し、１０月及び１１月に東村山警察署と連携した自転車登校指導、３月に薬物乱用防止教室を実施した。

④特別活動

・文化祭は新型コロナウイルス感染症対策のため、校内公開のみとし、形式を変更し分割して実施した。文化部ウィーク（１２団体参加）を１０月から１１月にかけて実施し、２学年を２月、１学年は３月に実施した。
・体育祭は新型コロナウイルス感染症対策のため非公開とし、９月に２日間にわたり種目などを変更して学年別に実施した。結果は赤団が優勝した。準備・練習や当日の運営、種目やルールの工夫など、生徒が中心となって実施した。
・新型コロナウイルス感染症の影響により、部活動の加入率は６５％となり、目標を大きく下回った。来年度は各部の部員数を増やすとともに、大会成績等の向上を期待する。また、部活動を通しての人間力の向上も併せて期待する。

⑤健康づくり

・組織的かつ適切な体力テストを実施した。授業や特別活動、部活動を通して体力の向上が図れた。
・スクールカウンセラーの１年生全員面接を通してスクールカウンセラーの意義や活用方法を生徒に周知できた。スクールカウンセラーの相談体制構築にいかされた。
・専門医による講演会を８月に実施した。
・アレルギー対応とＡＥＤ操作の校内研修会はできなかった。来年度は校内研修会を実施して、全教職員が緊急時の対応ができるようにする。
・新型コロナウイルス感染症対策に伴い、夏季合宿は中止した。

⑥募集広報活動

・新型コロナウイルス感染症対策のため、次のとおり内容を大幅に変更して実施した。
夏季休業中における教員全員での中学校訪問、体験入部は中止とした。
学校見学会を８月に実施し１９７名が参加した。個別見学会は８月と９月に実施に１８１名が参加した。
学校説明会は、第１回をオンライン（録画配信）で実施し１６６件のアクセスがあった。第２回はライブ配信で実施し１５６件のアクセスがあった。第３回は１月に実施し３８名の参加があった。
校舎案内を１２月に実施し１４７名の参加があった。都教育委員会主催の合同説明会には録画配信形式で参加した。
・ホームページ更新の実務担当者を増やし、更新回数を増やす取組を実施した。ホームページから学校情報をタイムリーに広報する取組を実施した。更新回数は３９５回となった。

⑦学校経営

・東村山市富士見町 園・学校連絡会は、連絡会が実施されなかった。連携は今後も継続する。
・新型コロナウイルス感染症対策のため、次の活動はできなかった。
ハンドボール部による小平特別支援学校のボッチャ部との交流
吹奏楽部による東村山市総合体育大会開会式の演奏への参加
野球部による近隣の中学校野球大会の運営や小学生のＴボール大会への参加
都立中央公園みどりの祭典オープニングセレモニーへの参加（みどりの祭典が中止）
・ＴＡＩＭS校内掲示板を活用し、朝の打合せや企画調整会議、職員会議での資料の削減や効率化を図った。
・教職員の定期健康診断の受診率は１００％であった。ライフ・ワーク・バランスを推進し、心身ともに健康で学校も家庭も両方大切にしていくことが今後さらに求められる。
・経営企画室職員は、学校見学会や学校説明会に参加し、経営参画意識がさらに向上した。